

2008年10月21日

証券監督者国際機構（IOSCO）による 会計基準の開発と執行に関するステートメント

証券監督者国際機構（IOSCO）専門委員会は、現在の金融危機との関係において会計基準が果たす重要な役割に関する議論を踏まえるとともに、資本市場の適切な運営に向けた財務報告基準の重要性を勘案し、資本市場と会計に責任を有する当局の団体として、高品質な会計基準の開発と執行に対する我々のコミットメントを改めて確認する。

公開企業の会計基準は、投資家が十分な情報を得た上で投資判断をすることが可能となるよう、明瞭、正確かつ有用な情報を提供するものでなければならない。この目標を推し進めていくことは、財務諸表及び資本市場に対する投資家の信頼を向上させることにつながる。我々は、投資家に透明性をもたらし、市場の健全性を維持し、資本の形成を促進し、金融の安定性と整合する会計基準を強く支持する。

投資家に透明性をもたらす高品質な基準の開発と維持にかかる任務は、その重要な部分を独立の会計基準設定主体に依存している。このため、我々は、国際会計基準審議会（IASB）と米国財務会計基準審議会（FASB）が、加速されたデュープロセスに従って、信用危機に関する課題に対応するための共同の措置を発表したことを支持する。我々は、IASB 及び FASB が、全ての利害関係者からインプットを求めようとしていることを歓迎するとともに、高品質でグローバルな解決方法を見出すために、迅速かつ厳格さをもって、共同作業に努めていることを賞賛したい。我々は、公正価値の測定と、資産の振替に関して、日本の企業会計基準委員会とカナダの会計基準審議会が取った重要な取組についても認識している。

基準設定主体が自らのスキル、経験及びデュープロセスに基づき、独立の判断を行使することができる場合に、高品質な会計基準が開発される可能性が最も高い。このため、我々は、資本市場当局の団体として、会計基準設定主体が役割を果たすことを支持する用意がある。また、我々は、国際会計基準委員会財団の評議員が自身及び IASB の説明責任、正統性、独立性を強化しようとする取組を強く支持する。

我々は、グローバルな市場において、特に危機下にあっては、協調的な手法が必要であるという考え方も支持する。我々は、基準設定主体により策定される基準が調和の取れた形で適用されるとともに、協力して執行がされることを支持していく旨を確認する。